

学会企画シンポジウム 4

学力とは何か

——あらためて心理学から問い直す——

企画・話題提供：藤村宣之（東京大学）

企画・司会：高橋雄介（京都大学）

企画・話題提供：鹿毛雅治（慶應義塾大学）

話題提供：工藤与志文（東北大学）

指定討論：楠見 孝（京都大学）

指定討論：篠原郁子（関西外国語大学）

企画趣旨：

2007年に改正された学校教育法にいわゆる「学力の三要素」が規定され、「基礎的な知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体的に学習に取り組む態度」が、学校の授業等の教育実践を通して育むべき学力と位置づけられた。これらに関連する内容は教育心理学の領域で研究されてきていると考えられるが、教育実践においては、各要素の内実や相互の関連性、それらの形成過程などが必ずしも明確に理解されているとはいえない現状がある。そこで本企画では、あらためて心理学の観点から「学力」とは何かというテーマを取り上げて議論を深めるとともに、教育実践の課題について明らかにすることを目的とする。